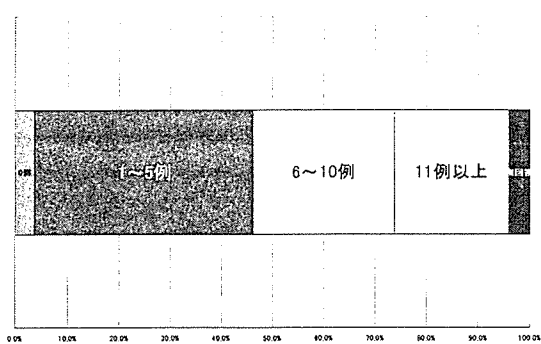
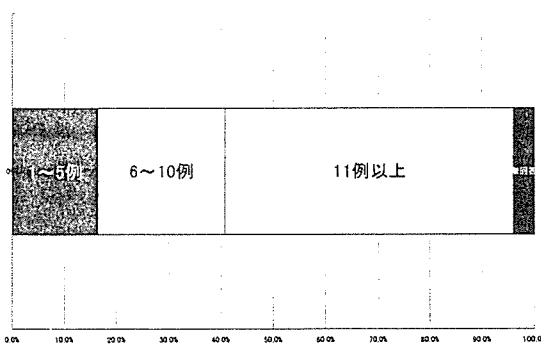


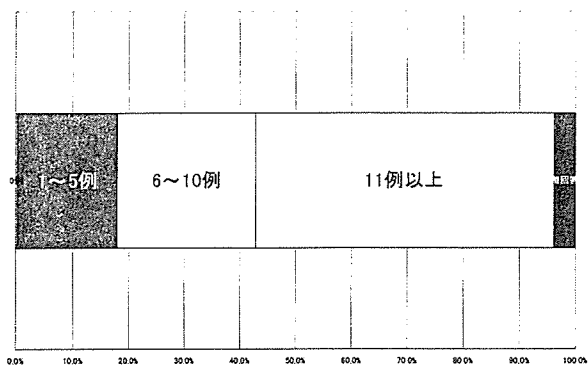
4 3. 脊柱障害(腰椎椎間板ヘルニア)



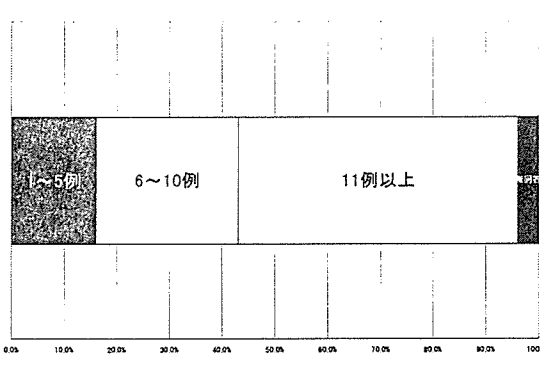
4 4. 心不全



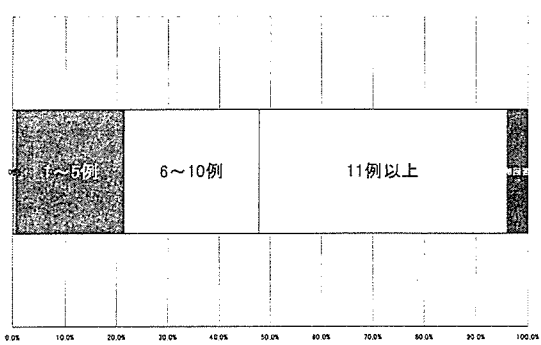
4 5. 狭心症、心筋梗塞



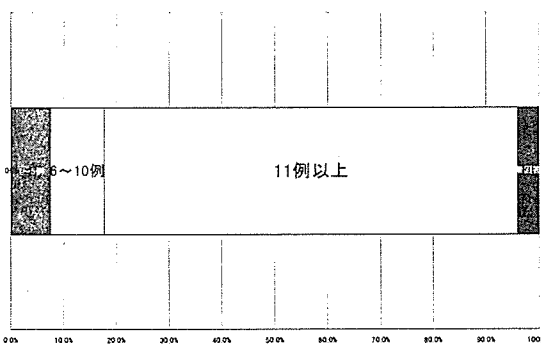
4 6. 不整脈(主要な頻脈性、徐脈性不整脈)



4 7. 動脈疾患(動脈硬化症、大動脈瘤)

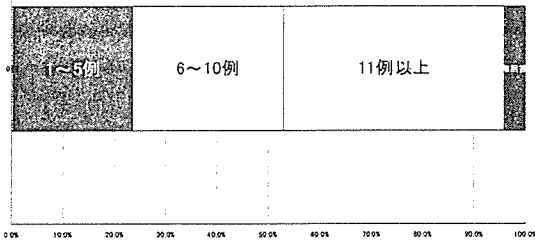


4 8. 高血圧症(本態性、二次性高血圧症)

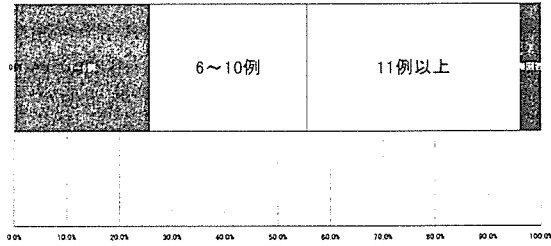


<p>49. 呼吸不全</p>	<p>50. 呼吸器感染症(急性上気道炎、気管支炎、肺炎)</p>
<p>51. 閉塞性・拘束性肺疾患(気管支喘息、気管支拡張症)</p>	<p>52. 食道・胃・十二指腸疾患(食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍)</p>
<p>53. 小腸・大腸疾患(イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻)</p>	<p>54. 肝疾患</p>

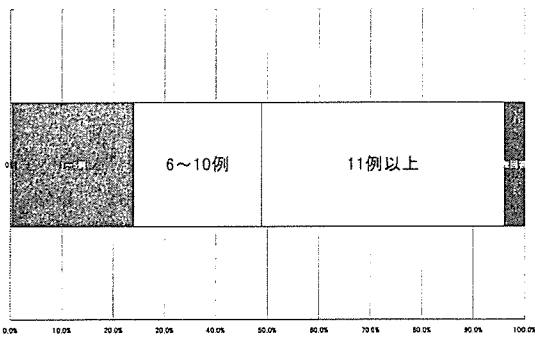
5 5. 横隔膜・腹壁・腹膜



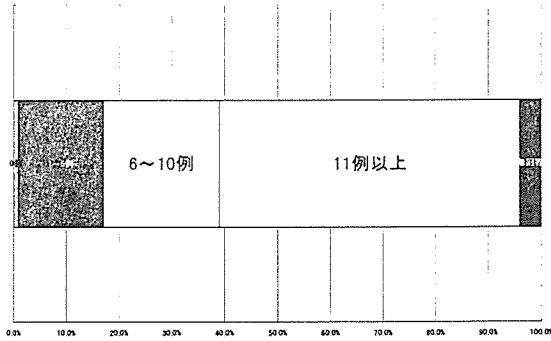
5 6. 腎不全



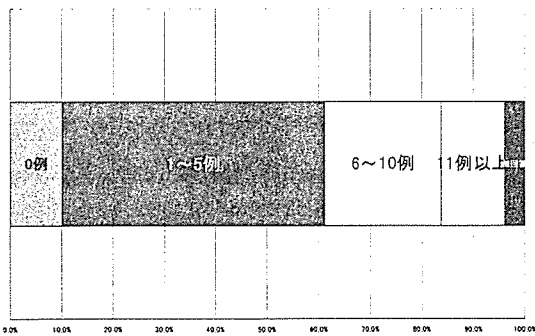
5 7. 泌尿器科的腎・尿路疾患



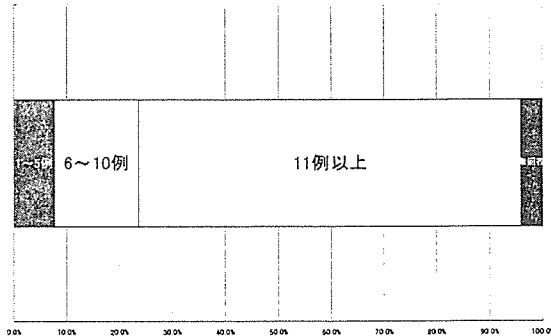
5 8. 妊娠分娩

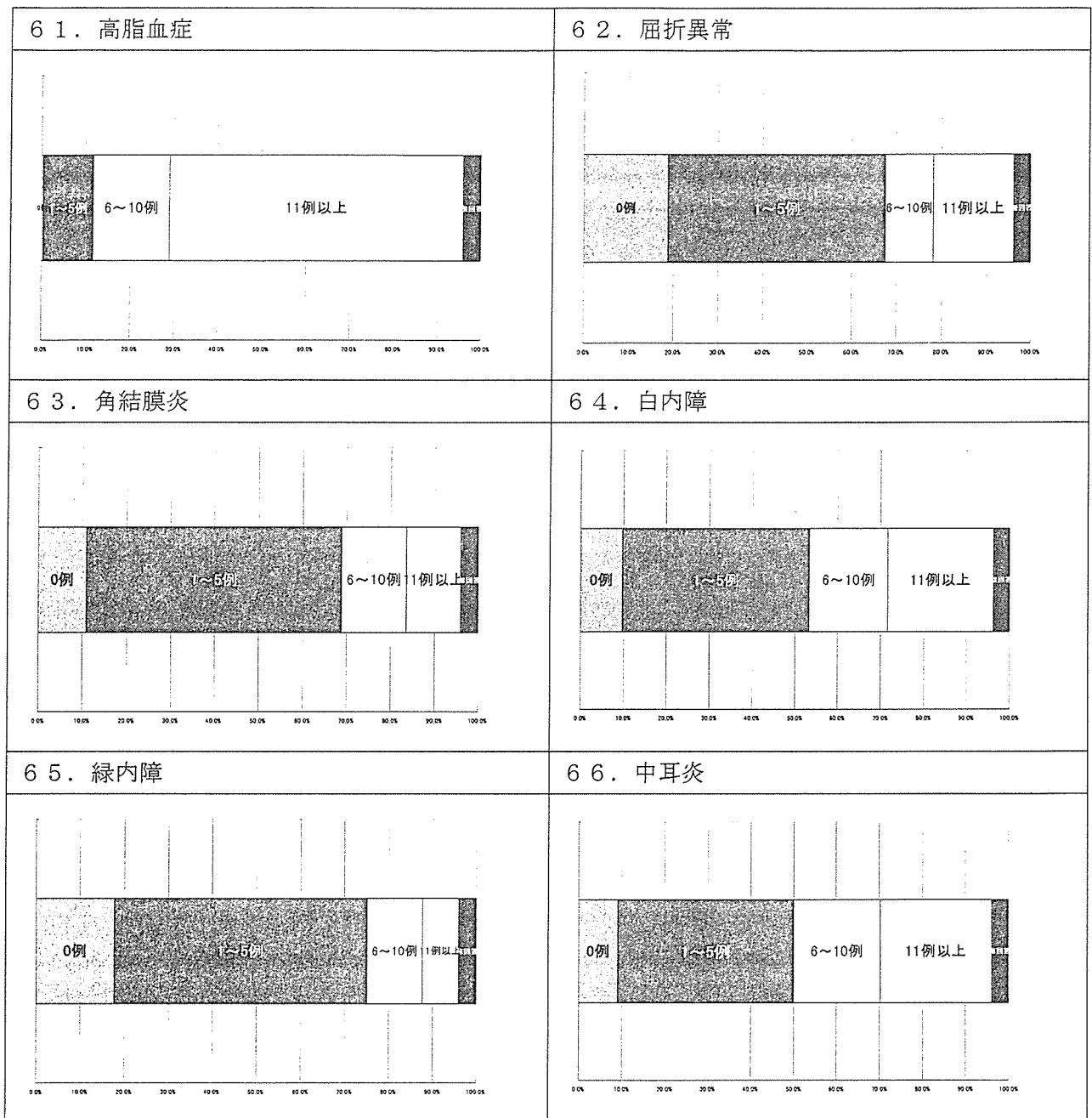


5 9. 男性生殖器疾患

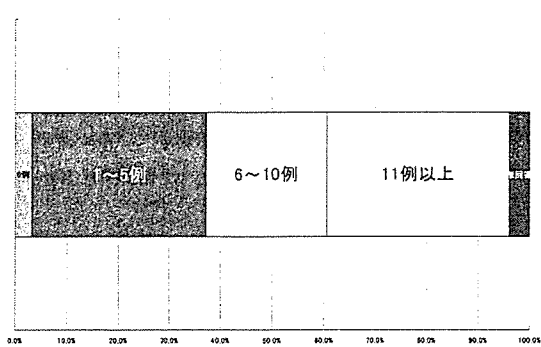


6 0. 糖代謝異常

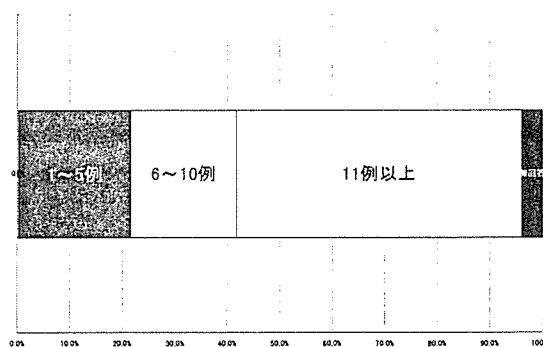




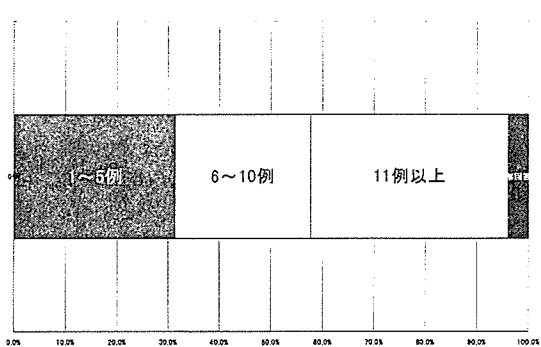
67. アレルギー性鼻炎



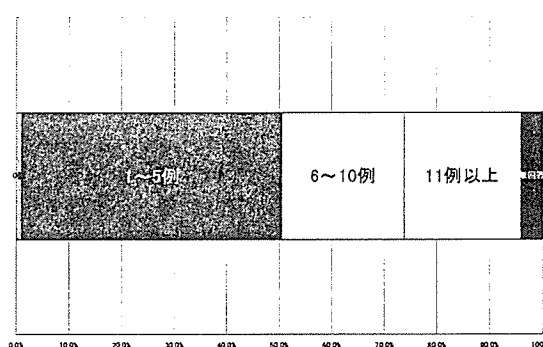
68. 痴呆



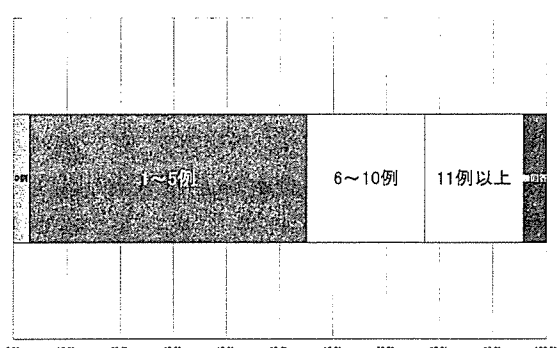
69. うつ病



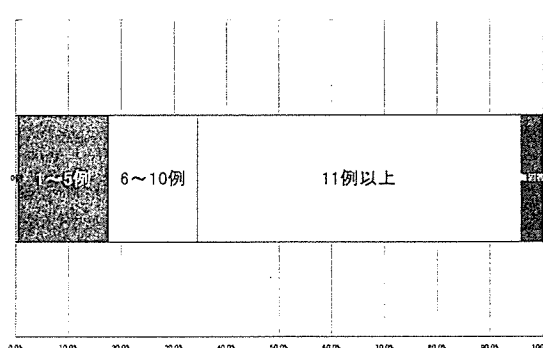
70. 統合失調症



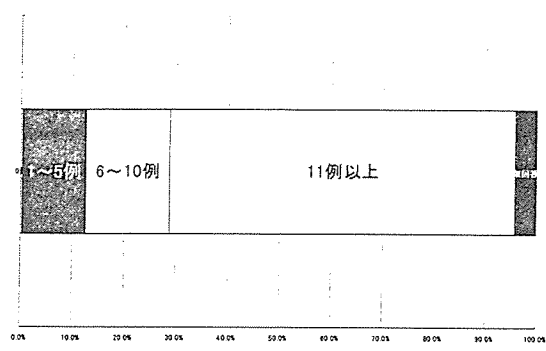
71. 身体表現性障害、ストレス関連障害



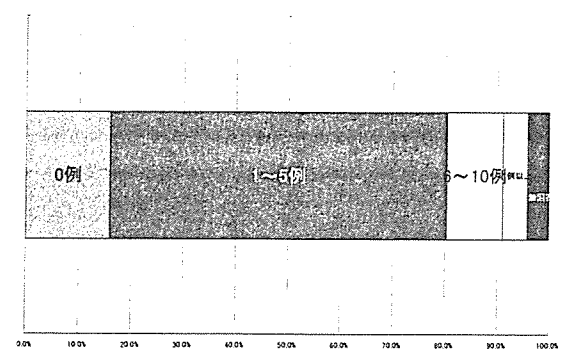
72. ウイルス感染症



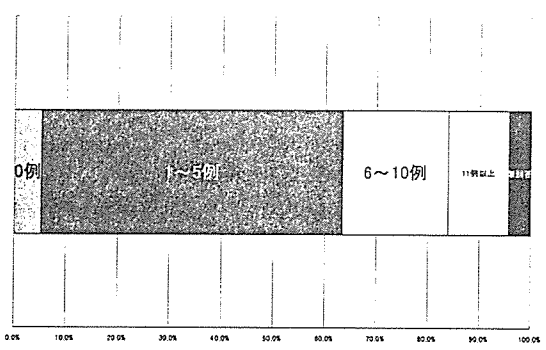
73. 細菌感染症



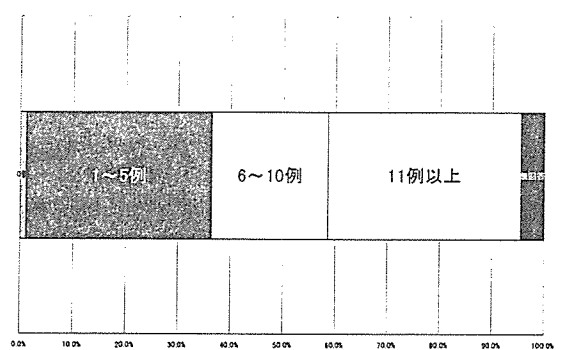
74. 結核



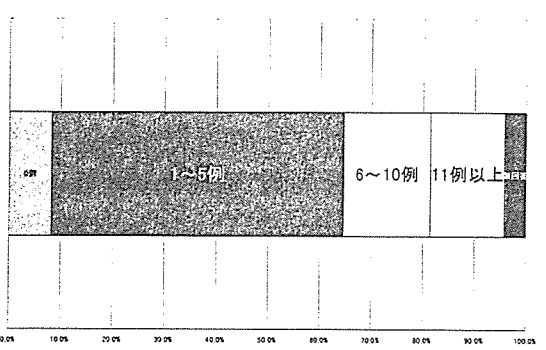
75. 慢性関節リウマチ



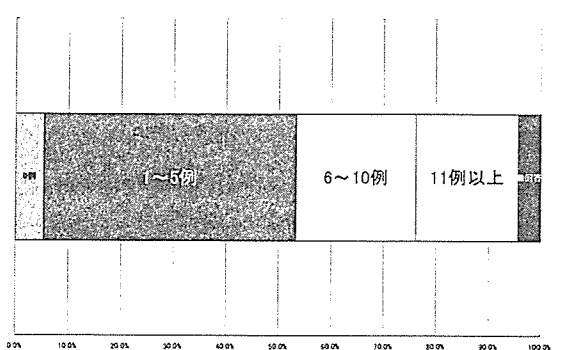
76. アレルギー性疾患



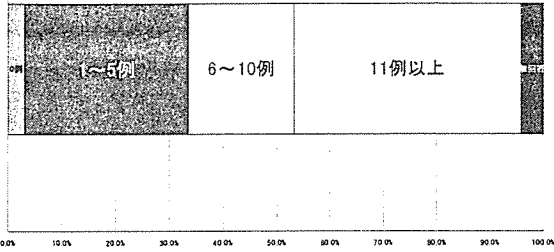
77. 熱傷



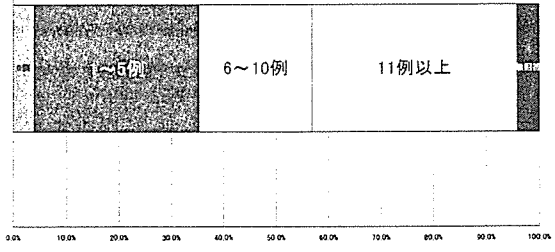
78. 小児けいれん性疾患



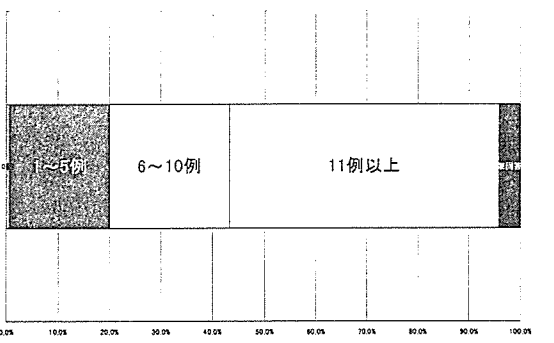
79. 小児ウイルス感染症



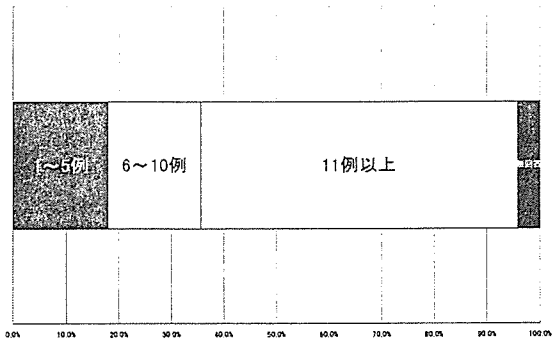
80. 小児喘息



81. 高齢者の栄養摂取障害

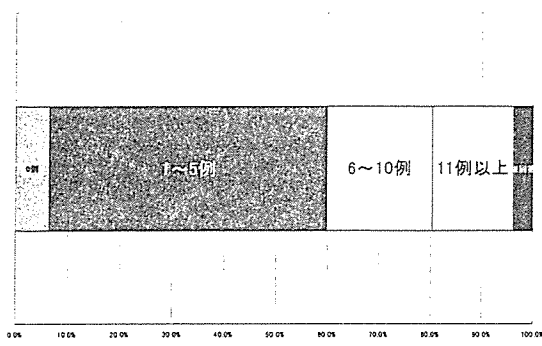


82. 老年症候群

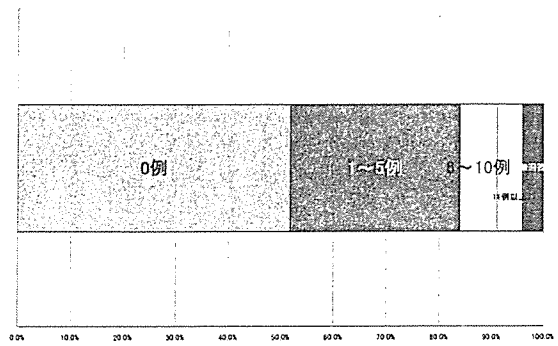


医療記録について

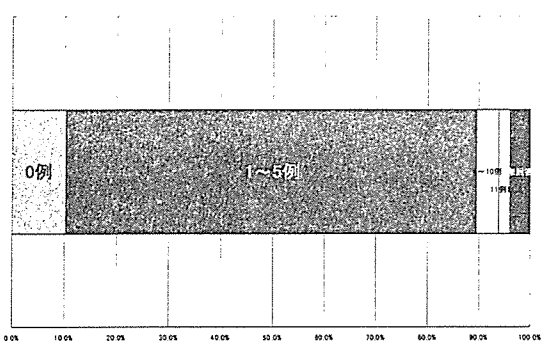
8 3. 死亡診断書



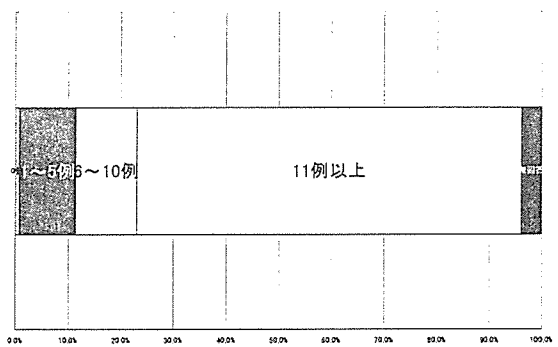
8 4. 死体検案書



8 5. CPCレポート (剖検報告)



8 6. 紹介状





新制度導入前 (H16) 新制度導入後 (H18) p-value  
 度数 % 度数 % 度数 % 度数 %  
 質問内容  
 1 基礎的な臨床知識・技能  
 2 新制度導入後 (H18) (H17) H16とH17の比較 H16とH18の比較

ラベル	質問内容	新制度導入前 (H16) 度数 %	新制度導入後 (H18) 度数 %	p-value	
1	グラム染色を行い、結果の解釈ができる	771 31.4	633 54.2	588 53.2	< 0.01
2	病歴に起こりうる合併症及び病態に対しての基本的な対応策ができる	1295 52.8	863 74.6	785 71.6	< 0.01
3	輸液の種類と適応を挙げ、輸液の量を決定できる	1912 77.9	1017 87.5	960 87.4	< 0.01
4	病歴の基本知識として、テブドマンができる	1189 48.4	801 69.1	719 65.5	< 0.01
5	カンファレンス等で病歴に患者のプレゼンテーションができる	2136 87.2	1051 90.7	1002 91.5	< 0.05
6	血液検査項目に関する検査を指示し、結果を判定できる	2112 86.0	1083 92.7	1019 92.3	< 0.01
7	診断書(問題解決型)をSOAP(Problem Oriented System)に基づいて整理・管理できる	2122 86.6	1095 94.2	1038 94.6	< 0.01
8	心電図検査を自ら実施し、不整脈の鑑別診断ができる	1609 65.5	956 82.1	924 84.2	< 0.01
9	尿沈査 尿沈査の検体で、赤血球、白血球、円柱を区別できる	875 35.6	595 51.0	502 45.4	< 0.01
10	膀胱穿刺 膀胱穿刺を実施できる	1702 69.3	942 81.1	905 82.4	< 0.01
11	血液型 血液型クロスマッチを行い、結果の判定ができる	1376 56.1	809 69.6	795 66.9	< 0.01
12	動脈血 動脈血酸素飽和度を測定できる	2358 96.0	1141 98.1	1079 98.2	0.08
13	呼吸器 気管挿管ができる	1900 77.4	1053 90.8	1018 92.8	< 0.01
14	画像診断 画像診断で前立腺の異常を判定できる	778 31.7	580 48.7	499 45.2	< 0.01
15	CTやMRI検査 脳CTで病歴による所見を見出すことができる	1491 60.7	952 81.9	901 82.1	< 0.01
16	各種検査の診断 頸動脈ドプラ検査の適応を判断でき、脳梗塞を判断できる	1536 62.5	945 81.2	917 83.5	< 0.01
17	骨折 骨折、脱臼、捻挫の鑑別診断ができる	729 29.7	556 47.6	515 46.6	< 0.01
18	妊娠 妊娠の初期兆候を把握できる	489 19.9	584 50.0	464 42.0	< 0.01
19	眼底 眼底所見により、動脈硬化の有無を判定できる	282 11.5	241 20.7	225 20.3	< 0.01
20	鼓膜 鼓膜を観察し、異常の有無を判定できる	562 22.9	473 40.5	473 38.1	< 0.01
21	行動科学・社会医学的側面を持った臨床知識・技能 Understanding patient's interest model	2269 93.1	1123 96.4	1076 97.3	< 0.05
22	患者心理 患者の身体的苦痛のみならず、精神的ケアにも対応できる	1485 60.7	920 79.2	892 81.4	< 0.01
23	満足度 患者の知識や関心のレベルに応じた健康教育ができる	1524 62.2	921 79.3	856 78.2	< 0.01
24	術前心理 術前患者の不安に対し、心理的配慮を施した処置ができる	1837 74.9	1012 87.4	975 88.9	< 0.01
25	MSW ソーシャルワーカーの役割を理解し、協働して患者ケアを行える	1161 47.5	770 66.3	714 65.2	< 0.01
26	レセプト 日常よく行う処置、検査等の保険点数を知っている	442 18.0	372 32.0	332 30.3	< 0.01
27	心理社会 患者の身体的側面だけでなく、心理社会的側面に配慮した治療ができる	1726 70.5	905 78.2	847 77.4	< 0.01
28	公費医療 医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決方法を指導できる	1142 46.7	716 62.0	625 57.0	< 0.01
29	家族心理 末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を軽減させることができる	1509 61.5	886 76.4	837 76.6	< 0.01
30	社会福祉 社会福祉施設等の役割について理解し、連携をとることができる	873 35.8	679 58.6	624 57.0	< 0.01
31	在宅医療 在宅医療を希望する末期患者のために、環境整備を指導できる	774 31.5	632 54.5	571 52.0	< 0.01
32	健康教育 慢性疾患への健康教育(道徳相談および指導)ができる	1178 48.1	905 78.0	825 75.3	< 0.01
33	研究 データの集約に応じた適切な統計学解析ができる	603 24.6	427 36.8	384 35.1	< 0.01
34	文献検索 診療に携わった疑問点について、Medlineで文献検索ができる	1943 78.3	918 79.1	861 78.4	0.29
35	研究論文 研究デザインを理解して、論文を添削することができる	1437 58.7	770 66.3	734 66.9	< 0.01

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0

## IV 研究班員名簿

## 研究班員名簿

区分	名前	所属
主任研究者	福井 次矢	財団法人聖路加国際病院 院長
分担研究者	矢野 栄二	帝京大学医学部衛生学公衆衛生学 教授
	青木 誠	国立病院機構東埼玉病院 院長
	川南 勝彦	国立保健医療科学院公衆衛生政策部 室長
研究協力者	遠藤 弘良	国立保健医療科学院 企画調整主幹
	水嶋 春朔	国立保健医療科学院人材育成部 部長
	野村 恭子	帝京大学医学部衛生学公衆衛生学
	木村 琢磨	国立病院機構東埼玉病院 総合診療科
	徳田 安春	聖路加国際病院 一般内科 副医長
	高橋 理	聖路加国際病院 一般内科 医幹
	小俣 富美雄	聖路加国際病院 消化器センター 医員
	大出 幸子	聖ルカ・ライフサイエンス研究所 研究員
事務局		財団法人聖路加国際病院 教育・研究センター 研究管理部 〒104-8560 東京都中央区明石町9-1 電話 03-5550-2423